

THE HIKAWA TIMES

令和7年4月7日
第103号
発行：進路指導係

令和7年度入試 日川高校進路状況総括

国公立大学67名 私立大学184名

琉球大①

福井大①

秋田大①

山形大①

静岡大①

信州大④

電気通信大①

都留文科大⑦

山梨県立大⑬

山梨大③①

合格校（抜粋）
現役生のみ

【国公立（県内）】

山梨大 31名

（教育）4名（工）13名

（生命環境）13名

山梨県立大 13名

（医・医）1名

（国際政策）5名

（人間福祉）4名

都留文科大 7名

（看護）4名

（教養）5名（文）2名

【その他公立】

長野大 3名

群馬県立県民健康

科学大 1名

諏訪理科大 1名

釧路公立大 1名

【私立】

青山学院大 1名

立教大 1名

法政大 2名

東京理科大 1名

芝浦工大 1名

工学院大 1名

明治学院大 3名

成蹊大 1名

その他多数

難関突破！その秘訣

電機通信大学
情報理工学域Ⅱ類

私が受験を通して、大切だと感じたことを2つ、皆さんに伝えたいと思います。

①オープンキャンパスには必ず行きましょう

オープンキャンパスに行くことで、その大学の情報や雰囲気を知ることができ、志望校選びの助けになります。

実際に私も、二年の夏に電機通信大学のオープンキャンパスに行き、大学の雰囲気を感じ、この大学は私がやりたいことができ、自分の性格とも合うと感じ、志望校にしました。

また、オープンキャンパスは勉強のモチベーションを高めてくれます。

私はオープンキャンパスで、研究室を見学したりサークルで行っている体験に参加したりし、電通大に行きたいという気持ちが大きくなりました。

その気持ちのおかげで、受験期に勉強のモチベーションを維持することができました。

志望校が決まっている人はもちろん、決まっていなくても自分が興味を持っている分野が勉強できる大学を、マナビジョン等のサイトで探してみても、オープンキャンパスに行ってみてください。

②辛いこと、困ったことがあったらすぐ周りの大人に頼りましょう。

私は高校三年の夏休みに、心身ともに調子を大きく崩してしまい、勉強に全く取り組めないという状態がありました。

その時は、なかなか親にも先生にも相談をすることができず、一か月近くそのような状態が続いてしまいました。

幸いなことに、夏休みの最後に健康状態に関するアンケートが配信されていて、そこに今の自分の状態を書いて助けを求め、先生やカウンセラーの方に相談に乗ってもらい、徐々に回復することができました。

受験期は悩みを一人で抱え込む人が多いと思いますが、そのような状態が続くと取り返しがつかないことになってしまう可能性があります。

先生や親、知り合いに相談をしてみてください。

に相談をしにくかったらチャイルドラインでもいいので、何かあったらすぐ相談しましょう。特に寝られない日が続いたら、それは自分が限界になっているという証拠なので、すぐ相談してください。私のこの体験が皆さんの参考になれば嬉しいです。

山梨大学
教育学部 学校教育課程
科学教育コース

受験生五力条

受験を終えて僕が伝えられるアドバイスを五力条にして伝えます。

一、部活も懸命に頑張りました。

部活で培った力は受験に大きく役立ちます。僕は冬まで部活動を続ける選択をしました。

勉強と部活をしっかりと両立するために、50・50ではなく、100・100で頑張ることを意識しました。

19時半まで体育館で練習し、21時まで図書館で毎日勉強しました。

文武両道を頑張れるのが日川の魅力です。

二、友達と勉強しましょう。

僕のモチベは友達がキープしてくれました。一人の勉強は辛く苦しいもので、一緒に高めあえる仲間と一問一答を出しあったり、

時間や内容を共有したりしました。僕はスタプラというアプリを使っていました。

三、こだわりをもちましょう。

志望校を明確に定め、決めたところは絶対に乗り越える気持ちを持つべきです。

僕は一年生の時からずっと梨大を目指していました。三年夏は共通テスト、ドッキング判定でした。

しかし、努力が報われ最終的にはどちらも判定に伸びませんでした。こだわって本当に良かったと思います。

四、落ちた時を考えましょう。

父によく言われたのが「落ちた後の自分が今戻ってきたと考えると勉強していた」ということです。

もし不合格という結果が出て自分の生活を振り返った時に、もったいないとおけば良かったなと後悔がないように今を全力で臨みましょう。

そうすれば勉強したいと思うだけでなく、するしか選択肢がなくなるはずですよ。

五、切り替える力をつけましょう。

どれだけ頑張っても落ちることがあります。僕は一度、学校推薦入試に落ちました。

絶望して、人生で一番つらい瞬間でした。でも後でいっぱい笑うためには切り替える他に選択肢がないと思います。

できるだけ切り替えて勉強しました。あの経験があったから笑顔で受験を終れたと思います。

以上です。頑張れ受験生！！

令和七年度入試を振り返って

昨年度は国公立大学に六十七名の合格を輩出しました。県内大学では山梨大に三十一名、山梨県立大に十三名、都留文科大に七名合格というように、ここ数年続く地元大学への進学が目立ちました。

近県では電機通信大一名、信州大四名や静岡大一名、公立諏訪東京理科大一名、長野大に三名合格しています。

また、秋田大や琉球大など全国各地での合格も出ています。私立大学への合格は、青山学院大や立教大、法政大、芝浦工大、東京理科大、工学院大等百八十三名が合格しました。

過年度生も、静岡大や中央大等に合格し進学を決めています。

先輩方の体験談を参考に、今日から学習と生活の質・量の双方を高め、目標実現に一步近づいてほしいと思います。

（進路指導主事 紺野 英）